

令和6年8月30日

先ほど、三重県の災害対策本部を開いたところですが、県民の皆さんに呼びかけをさせていただきたいと思います。

(資料の掲示)

台風10号、もうすでにマスコミの情報を県民の皆さんも知っておられると思いますが、九州から四国に向かって台風が動いているところ、ゆっくり移動しているところ、非常にゆっくりした動きです。従いまして、雨、風これが停滞をして被害を大きくする可能性があります。三重県ですけれども、一番近づいてくるのが9月1日、9月2日というふうに今、気象庁から言われているところでもあります。気象庁さんの最新の情報ですと、1つ今画面にはでていますが、9月1日には台風は熱帯低気圧に変わるということです。これご注意くださいのは、通常秋でてくる低気圧は温帯低気圧です。熱帯低気圧というのは、台風の規模が少し小さくなっただけですので、雨も風も強さそんなに変わらないというふうに思っておいてください。熱帯低気圧だから問題ないんだということではありません。従いまして、今後の台風情報に十分注意をしていただきたいと思いますというふうに思います。

昨日、三重県の中ではかなりの雨が降りました。9つの市と町で避難所を開設をいたしまして、今現在も3つの市と町で避難所が開設されているという状況です。気象庁から今日の午前中も含めて、特に今日の夜以降ですが、線状降水帯が発生する可能性があります。三重県の方々経験されてますけど、今台風の天気です。雨が降ったり、急に晴れ間が出てきたり、こういう状況ですが、線状降水帯になりますと雨がずっと降り続きます。海からの雲、水蒸気が陸上にやってきて、雨の切れ間がないという危険な状況となりますので、ご注意くださいと思います。昨日の雨の状況ですけれども、津そして伊勢は1日で8月の一月分の雨が降りました。津は8月ですと大体平均で144ミリなんですけど470ミリ、2倍以上です。伊勢も同様で、8月通常は160ミリですが327ミリの雨が降っている。これですと災害が起きる状況であります。観測史上の記録を更新をしているということです。それから平年以上の雨が降ったのが、10市4町で平年以上の雨が降ってるということあります。それを踏まえまして、県民の皆さんに呼びかけをさせていただきたいと思います。

(資料の掲示)

まず、明日から土日は休みの方が多いと思います。不要不急の外出は控えていただきたいと思いますということでもあります。それから危険な場所に行くことは絶対に

避けていただきたいというふうに思います。具体的に申し上げますと、過去の死亡事例でありますけれども、田んぼの水が心配や、よく分かります。あるいは川の水がどのぐらい出ているのか見に行かないかん、そういう気持ちは分かりますけれども、台風が去って行って状況が落ち着くまで待ってください。そこで流されて亡くなられる高齢者の方が多いです。それともう1つ、台風の風で屋根が飛んだ。屋根の修理をしなければいけないということで、屋根の上で上がられて足を滑らされた。あるいは風で飛ばされて亡くなったという事例も過去にありますので、そういった危険な箇所へ近づくことは絶対に避けていただきたいというふうに思います。

2点目、避難所や避難経路、これを確認をしていただいて、市町からは早めの避難指示が出ると思います。それを受けて早めの避難をしていただきたいとします。

そして、もう1つ要注意なのは土壌が今までの雨を随分含んでおります。含み水が多い。そうしますと、今後晴れていても土砂崩れが起こる可能性があります。崖の近くの道路を通る時は十分注意をしていただきたいというふうに思います。

それから、各公共交通機関はすでに計画運休を発表しています。行動の予定がある方で、急ぎの理由で出かけなければいけない方は事前に確認していただきたいというふうに思います。

この4点ですので、よろしく願いいたします。私からは以上です。